早稲田文化芸術週間
2019年10月7日(月)-21日(月)

文化推進学生アドバイザー Presents

ミュージアムワードパズル

学生ボランティア組織「文化推進学生アドバイザー」が、早稲田文化にもっと親しんでもらうためパズルを作成しました。會津八一記念博物館、早稲田大学歴史館、早稲田スポーツミュージアムを回り、謎を解き明かそう！ ※各問題末尾の(　)にヒントがあります。

〔例〕このワードパズルを作成したのは文化推進学生〇〇〇〇〇〇！　〔答え〕アドバイザー ※問題の中の〇の数は仮名表記と同じ数です。

早稲田大学歴史館の問題

1 東京専門学校創設期、高田早苗の月給は〇〇〇〇〇円だった。(「久遠の理想」エリア)

3 「早稲田大学のロボット開発(年代順)」では、WABOT-2が〇〇〇〇〇〇〇を演奏する様子を見ることができる。(「進取の精神」エリア)

4 坪内逍遙(しょうよう)の〇〇〇〇〇〇〇講義は名講義として世に知れ渡り、学外からの聴講も多かった。(「久遠の理想」エリア)

6 「早稲田の文学者たち」の中で「現実とパラレルワールドの律動」と紹介されているのは〇〇〇〇〇〇〇。(「聳(そび)ゆる甍(いらか)」エリア)

會津八一記念博物館の問題

2 4Kデジタルサイネージにある右図の作品2の名称は「〇〇〇〇〇〇〇駝丁俑(だていよう)」。(2階ホール)

9 白隠慧鶴(はくいんえかく)が描いた右図の作品9の名称は「〇〇〇〇〇〇〇〇〇」。(富岡重憲コレクション展示室)

10 中国の墳墓の副葬品。木や土で模してつくり、実物の代わりに地下に納めた〇〇〇が展示されている。(會津八一コレクション展示室)

早稲田スポーツミュージアムの問題

5 射撃部のコーナーには、〇〇〇〇〇〇の400点満射の標的が飾られている。(体育各部セレクション)

7 廊下では歴代の「早稲田スポーツ功労者」を紹介しており、一番左では日本サッカー史に輝くストライカー〇〇〇〇〇〇〇〇が顕彰されている(Walk of Fame)

8 オリンピック・パラリンピック銘板には、バレーボールで銅メダルを獲得した〇〇〇〇〇〇の銘板が設置されている。(「記念会堂」の記憶)

11 早稲田大学が箱根駅伝初優勝を果たした際に贈られた、〇〇〇〇〇〇〇の表彰状の現物が展示されている。(早稲田スポーツの栄光)

例 あ	2					7		9		
ど		3	4	5	6					11
ば										
い										
ざ									10	
1 ー							8			

ミュージアムワードパズル受付印

プレゼント

オリジナルペンケース

(非売品・先着 1,000名)

全て解けた方にはオリジナルペンケースをプレゼント。

プレゼント配付場所

早稲田大学歴史館「聳(そび)ゆる甍(いらか)」エリア(10:00-16:30)